

みなぎる力 6月

伊丹市立笹原中学校 2年生学年通信 8号 令和3年6月8日(火)



～ 学年委員 朝の放送 始めました ～

人生には進歩と退歩の二つしかない。

現状維持とは、つまり退歩している証なのだ！ by ニーチェ

毎週水曜日、朝学活終了後の時間を使い、学年委員による校内放送が始まりました。3組の古澤さんが学年の仲間へメッセージを語りかけ、ニーチェの格言で放送を締めくくってくれました。

失敗しなかった一日は、何もしなかった一日だ by 中谷彰宏

3組の山城さんのメッセージには、今、みなさんが感じているモヤモヤとした思いを乗り越えるヒントが含まれていたように感じます。先輩になることで生じた責任。「後輩に負けてしまうのでは?」「このままの自分でいいのか?」自分自身の力不足に気づき、乗り越えるべき課題がはっきりと見えてきたのが、今のみなさんの状況ではないでしょうか。もしかすると、みなさんの中には人生初の挫折感を体感している人が多くいるのかもしれない。成長するために、時として大きな痛みが伴うことがあります。自分の考え方を変えたり、陽転思考(「人生良かったカルタ」の考え方です)を取り入れたりして自分の力で乗り越えていくしかありません。

～ 自分と向き合い 一歩前へ ～



今、みなさんにぜひ伝えたいことは、「一生懸命やることは恥ずかしいことではない」ということです。勉強も部活動でも個人差は必ず存在します。一生懸命に力を出し切り、できなければ、ある意味で「仕方ない」と納得することができます。次の方法や作戦を考えるしかありません。

しかし、一生懸命に取り組まずに、うまくいかなかった理由を他人のせいにして、言い訳をあれこれ並べたりすると、いつまでたっても進歩がないばかりか、次の作戦すら考えることができなくなります。「本気を出せばできるけど、やらないだけ」という逃げの姿勢を持ち続けると、本当に勝負しないといけない時に「やる気のスイッチ」が入らなくなってしまいます。やるからには結果が伴うのが良いに決まっていますが、今は結果が出なくても、目の前のことに一生懸命に取り組む習慣を身につけることが何より大切です。「一生懸命にやる」という姿勢が、この先のみなさんの人生において必ず役に立つ「強み」「底力」となります。

さあ、部活動に勉強に、結果はともあれ、今まで以上に一生懸命に取り組んでいきましょう！

～ 今月のトライやる・ウィーク企画 ～

高校生とのコラボ企画「考えるって何だろう」6月10日(木)

大阪高校探求科の生徒のみなさんが来校し、高校生が主体となって、みなさんと一緒になって「答えのない問い」について考える企画です。ゼロの状態から何かを創り出す。価値観が多様化し正解が一つとは限らない現在の社会で、「みんなが納得できる答え」を見つけ出す過程を経験してもらいたいと考えています。

お魚 講習会 (魚を3枚におろし、ソテーします) 

2組: 6/25(金) 10:40~12:40 (in 3階調理室)

3組: 6/25(金) 13:30~15:30 (in 3階調理室)

1組: 6/29(火) 13:30~15:30 (in 3階調理室)

お魚講習会では、保護者の皆様に、お子様の所属するクラスに限り参観可能とさせていただきます。新型コロナウイルス拡大防止の観点から、ご理解いただきますようお願いいたします。

お魚 講習会における新型コロナウイルス感染症対策について

主催者: 兵庫県学校給食・食育支援センター

講師: 兵庫県漁業協同組合連合会より派遣

- ・調理室の換気を十分に行って実施します
- ・班の人数を通常の7名から4~5名に限定し、実習スペースを確保して行います
- ・調理器具(包丁とまな板、フライパンなど)を1人1セット準備します。
- ・実習時にはマスクを着用して行います。
- ・試食の時には給食時と同様に黙食で実施します。
- ・熱中症予防の観点から換気と冷房を並行して行います。

保護者の皆様へ

2年生になり、先輩としての自覚と責任が育ちつつある6月です。学習面でも進路に向けての漠然とした不安や、今まで以上にテストの重要性を実感し始めているように感じます。なかなかうまくいかない、何とかしたい、そんな思いが複雑に絡み合っただけで生徒たちはモヤモヤとした思いを抱えながら、それでも前を向き、一生懸命に学校生活を送っています。生徒たちにとっては、保護者の皆様が寄り添い、葛藤に共感してくださることが安心感につながり、学校生活の活力となっているように思います。今後とも、生徒たちを温かく見守り、励まし、背中を押し続けていただきますようお願いいたします。また、ご家庭でご心配な点や学校生活へのご質問などございましたら、担任または学年の職員まで遠慮なくご相談ください。